

議員提出議案について

平成27年第5回筑紫野市議会定例会（12月）において、次の発議を提案し、可決しましたので、その内容をお知らせします。

発議第4号	少人数学級推進、義務教育国庫負担制度拡充を求める意見書について
<p>【趣旨】</p> <p>日本の将来を担い、安全で安心な社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は、極めて重要です。</p> <p>35人以下学級について、義務標準法が改正され、小学校1年生の基礎定数化が図られたものの、小学校2年生については、加配措置にとどまっています。</p> <p>文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人から30人を挙げており、保護者も更なる少人数学級を望んでいることが伺えます。</p> <p>しかし、義務教育国庫負担制度の国庫負担の割合は、3分の1のままで、GDPに占める教育予算の割合は、OECD諸国の中で日本は、大変低い水準となっており、自治体財政を圧迫しています。</p> <p>また、このような状況は地域間の教育条件格差にもつながっております。</p> <p>以上の理由により、少人数学級推進、義務教育費国庫負担制度拡充を国に要望するものでございます。</p>	

発議第5号	山神水道上流域産業廃棄物処分場問題に関する意見書について
<p>【趣旨】</p> <p>昭和63年に同処分場が設置されて以来、山神ダム上流域に硫化水素ガスの発生や周辺水路の水質汚濁などの問題が見られるようになり、加えて平成11年には高濃度の硫化水素ガス中毒により作業員3名が死亡する事故が起きました。</p> <p>そのような状況を受け、福岡県は、同処分場に対して行政処分や改善命令などを行っておりますが、改善命令等の履行は進んでおらず、周辺関係住民は不安感を持ち続けていま</p>	

す。

以上の理由により、本意見書では、山神ダム上流域産業廃棄物処分場問題の抜本的な対策を講じ、一日も早い安全確保が求められており、早急かつ抜本的な解決がなされるよう県に要望するものでございます。